

平成 2 3 年 第 6 回 臨時会

企 画 産 業 常 任 委 員 会  
会 議 録

期 日 : 平 成 2 3 年 1 0 月 5 日 (水)

場 所 : 大 曲 庁 舎 互 助 会 館 第 一 会 議 室



# 大仙市議会企画産業常任委員会会議録

---

日 時

平成23年10月5日（水曜日） 午前10時15分 ～ 午前10時29分

---

会 場

大仙市役所 3階 互助会館第一会議室

---

出席議員（8人）

1番 大野 忠夫	5番 藤井 春雄	12番 石塚 柏
15番 渡邊 秀俊	22番 本間 輝男	23番 橋本 五郎
25番 橋村 誠	26番 佐藤 孝次	

---

欠席議員（0人）

なし

---

説明のため出席した者

農林商工部長 高橋 豊幸	農林商工部次長 高嶋 良美
農林商工部農林振興課長 木村 喜代美	農林商工部農林振興課参事 田中 盛耕
農林商工部商工観光課長 藤川 祐弘	農林商工部商工観光課参事 判田 基
農林商工部商工観光課主幹 今 善雄	

---

議会事務局職員出席者

主 任 中 川 智 晴

---

第 1 議案第205号 平成23年度大仙市一般会計補正予算（第9号）

---

午前10時15分 開 会

○委員長（橋村誠） おはようございます。本日は、本会議の休憩中をお集まり頂きましてありがとうございます。本当にこれでこのメンバーの最後の委員会になりましたので、じっくりと審議をして参りたいと思います。

それでは、ただ今から企画産業常任委員会を開会いたします。

早速ですが、当委員会に付託されました事件につきまして、お手元に配付の日程表に従って審査しますのでよろしく願いいたします。なお正確な会議録の作成のため、発言の際はマイクのスイッチを入れてからお願いいたします。それでは審査に入ります。

---

○委員長（橋村誠） 議案第205号 平成23年度大仙市一般会計補正予算（第9号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。木村農林振興課長。

○農林振興課長（木村喜代美） はい、委員長。

○委員長（橋村誠） はい、木村課長。

○農林振興課長（木村喜代美） それでは、私の方から議案第205号 平成23年度大仙市一般会計補正予算（第9号）のうち、農林振興課所管分についてご説明を申し上げます。

資料ナンバー2の補正予算書の10ページ、それから併せて資料ナンバー2-1の10月補正に係る事業説明書の3ページをご覧頂きたいと思います。

歳入につきましては、歳出の中で説明をさせていただきます。

最初に、6款1項3目81事業 新ビジネス発展体制整備事業でございますが、こちらにつきましては秋田県の農林漁業振興臨時対策基金、100億円の基金でございますが、こちらを活用いたしまして、農業法人等が取り組む加工や直売、レストランなどの新ビジネスを支援することを目的とした事業でございます。平成23年から25年度までの3年間行うものでございますが、この度、県の補助事業が採択となりましたので補正をお願いするものでございます。

失礼して座って説明させていただきます。

内容につきましては、食品加工等連携支援タイプといたしまして、個人あるいは法人の認定農業者が導入する加工品製造等の取り組みに要する施設の改善や機械の整備・導入に対して支援するもので、事業費の3分の1を助成するものでございます。事業の実施主体は大仙市内小友、有限会社井上農産でございます。事業の概要につきましては、

既存の加工場の改修工事といたしまして、土間・天井・壁・建具・水道・電気等の工事を行うもので、税抜きの事業費が1,632千円で、この3分の1の544千円を補助金として県から頂くもので、全額県の支出金でございます。事業の経緯でございますが、今年度から県が事業主体となりまして、学校給食に地元農産物の導入を促進するために行います、ふるさと食材加工開発モニタリング事業というものがございまして、これを実施するにあたりまして、この事業の委託先に選定されました有限会社井上農産の既存の加工場を整備・改修するというものでございます。ふるさと食材加工開発モニタリング事業と言いますのは、こちらも100億円基金の事業でございますが、学校給食用の加工製品の開発の委託、それから学校給食現場でのモニタリング調査等を行いますもので、有限会社井上農産に委託する品目はジャガイモ・ゴボウ・ニンジンのカットと真空パックでございます。加工開発品につきましては、市の学校給食総合センターに搬入するものでございまして、給食現場でのモニタリングを実施し、委託期間は来年の2月までということになってございます。加工開発品につきましては、次年度、24年度、市町村で学校給食に導入する場合、経費の3分の1を県の学校給食協会等に助成するという内容でございます。

続きまして災害の関係の補正でございます。

補正予算書の14ページをご覧頂きたいと思っております。併せまして、資料ナンバー2-1の5ページをご覧頂きたいと思っております。

11款2項2目11事業 林業施設災害復旧事業費（補助分）でございます。本年6月23日から24日の豪雨により被災いたしました西仙北地域の林道諏訪山線が国庫補助対象復旧事業となりまして、国の現地査定等が終了いたしましたので、事業費が固まりましたので、今回補正をお願いするものでございます。事業概要につきましては、西仙北地域の林道諏訪山線の路肩欠壊、長さが14メートルでございますが、これに伴います掘削工・盛土工・埋戻工・路盤工・擁壁工等を行うもので、事業費は5,517千円、このうち、補助金が50パーセントの2,758千円。また、補助残のうち起債、充当率80パーセントでございますが、2,200千円の起債をするものでございまして、補正予算書には4ページと9ページにこちらの件につきまして記載してございますが、併せて地方債の補正をお願いするものでございます。工期につきましては11月上旬には発注いたしましたので、1月の末までには完成を予定いたしております。

以上、平成23年度大仙市一般会計補正予算（第9号）のうち、農林振興課所管分についてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

- 委員長（橋村誠） はい、ご苦労さんです。次に、藤川商工観光課長。
- 商工観光課長（藤川祐弘） はい、委員長。
- 委員長（橋村誠） はい、藤川課長。
- 商工観光課長（藤川祐弘） 同じく議案第205号 平成23年度。
- 委員長（橋村誠） 座って。
- 商工観光課長（藤川祐弘） 失礼して、座らせて頂きます。

平成23年度大仙市一般会計補正予算（第9号）のうち、商工観光課所管の歳出予算についてご説明申し上げます。

補正予算書の11ページ目及び事業説明書の4ページ目をご覧頂きたいと思います。

7款1項4目52事業 被災地開催花火支援事業費につきましては、250千円の補正であります。先の6月定例会において、東日本大震災で被災された全国花火サミットの構成メンバーである石巻市と、秋田・岩手地域連携軸推進協議会で交流のある宮古市で開催される花火大会に、大仙市と大曲商工会議所が2分の1ずつ負担し合い、大曲の花火を打ち上げ、復興支援することを議決頂き、8月1日に開催された石巻川開き祭り花火大会と8月14日に開催された宮古夏まつり海上花火大会を支援し、大変喜ばれたところでありました。その後8月19日、大仙市と北東北地域連携軸構想推進協議会で同メンバーとなっている釜石市の職員が、市を經由して大曲商工会議所を訪れ、釜石復興イベント・元気なかまいし発信事業を10月23日、釜石駅隣のシープラザ周辺で開催することとなり、イベントのフィナーレにおいて、復興への思いを込めた大曲の花火を打ち上げて欲しいとの要請がありました。これを受け、8月31日に市と会議所職員及び打ち上げを担当する大曲の花火協同組合久米川会長らによる現地踏査を行い、打ち上げ現場を釜石港埠頭とすることや大曲の花火打ち上げ経費3,000千円は釜石復興イベント実行委員会で負担するなどの打ち合わせを行ってきたところでありました。9月1日、大仙市内の花火業者4社で組織された大曲の花火協同組合において役員会が開催され、3,000千円の花火に加え、大曲の花火らしい演出された1,000千円相当のスターマイン、春夏秋冬を打ち上げて支援したいとの協議が調ったことを受け、同

組合で500千円、大仙市と大曲商工会議所でそれぞれ250千円の三者で負担し合い、花火による復興支援をしようとするものであります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

○委員長（橋村誠） はい、ご苦労さんでした。説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方は、どうぞお願いします。

○26番（佐藤孝次） はい。

○委員長（橋村誠） はい、佐藤委員。

○26番（佐藤孝次） このモニタリングというその新ビジネスの関係だけれども、地場産農産物を導入するという部分で、今年度というと4月から始まって、今もう半分経った。そういった中で、地場産の農産物がこんな状況でいくら程度、今ここにきていく程度使われていたものか。それが学校給食に使われているかという部分だ。

○農林振興課長（木村喜代美） はい。

○委員長（橋村誠） はい、木村課長。

○農林振興課長（木村喜代美） 23年度はちょっと残念ながら統計まだ頂いておりませんが、22年度の地元産の野菜の状況ですと、15品目に絞ってご説明いたしますが、ジャガイモ・ニンジン・ホウレンソウ・ピーマン・タマネギ・長ネギ・キャベツ・モヤシ・ゴボウ・キュウリ・レタス・ダイコン・ハクサイ・トマト・生シイタケ、この15品目で大仙市産は32パーセント使用してございます。それから。

○26番（佐藤孝次） 給食に使っているという。

○農林振興課長（木村喜代美） そうです。

○26番（佐藤孝次） 今この井上農産で、そこの部分の、その32パーセントのうちのいくらの割合を占めている。

○農林振興課長（木村喜代美） 今は納入してございません。

○26番（佐藤孝次） このあとか。

○農林振興課長（木村喜代美） このあとカット野菜として、試しにと言いますか、今井上農産さんではゴボウ・キャベツ・ダイコン・ジャガイモ・ニンジン等をですね、自分で作っているのはダイコンしかないようですけれども、それ以外は購入いたしましてカットしてですね、地元のスーパー等に納めているところではございましたので、そちら

をシフトして頂いて、給食の方にも活用して頂くモニタリング事業をやるということのようでございます。

- 26番（佐藤孝次）　そこに地場産という条件は付くわけか、その原材料について。
- 農林振興課長（木村喜代美）　県の説明ではそういうことでもございました。ただ、井上農産で直接作っているわけでないので、おそらくダイコン以外は管内から購入されて活用されるものと思っております。
- 26番（佐藤孝次）　はい、分かりました。
- 委員長（橋村誠）　いいですか。ほかに質疑はありませんか。はい、大野委員。
- 1番（大野忠夫）　西仙北の林道の関わりですけれども、いろいろな災害で復旧工事をやるという、それはまず当然なことなんですけれども、このあとの3番目の、事業説明書の方向性というところに、このあと復旧後は適切な維持管理を行っていくということなんですけれども、これまでもいろいろと管理はしてきたのかなと思うんですけれども、そうすればこれからさらに適切な管理としてはどういうことをやっていくのか。
- 農林振興課長（木村喜代美）　はい。
- 委員長（橋村誠）　はい、木村課長。
- 農林振興課長（木村喜代美）　ここの林道につきましては、非常に急峻な地形になってございまして、適切な管理というのは巡回をしたり、あるいは被害に遭わないように点検等を行っていくというようなことになろうかと思えます。
- 1番（大野忠夫）　ささるわけでないけれども、非常にその言葉で言われれば綺麗な言葉出てくるけれども、実際に今までもそういうことを巡回してきたということだと思うんだ。だって、また同じことをやれば適切な管理でなくて、予算だけ今までと同じことになってしまうからな。やはりそうでなくて、もう少し具体的に、この部分が足りないから今回は災害も起きたという反省に立ってるとか、そういうことに力を入れるとか、そういうものあればいいんだけど、何も変わらない管理では、こういうこと書かなければいいんだよな。書くからおかしくなる。
- 農林振興課長（木村喜代美）　分かりました。ご指摘を受けまして、誤解のないような表現にこのあと、対応して参りたいと思えます。
- 委員長（橋村誠）　いいですか。
- 1番（大野忠夫）　はい。
- 委員長（橋村誠）　ほかに質疑はありませんか。



(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（橋村誠） なければ質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（橋村誠） 討論なしと認めます。

それではお諮りいたします。本件につきましては、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（橋村誠） ご異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

---

○委員長（橋村誠） 以上で、当委員会に付託となりました事件の審査は終了いたしました。

これで企画産業常任委員会を閉会します。

大変、ご苦勞様でした。

午前10時29分 閉 会

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成23年 月 日

企画産業常任委員会委員長 橋 村 誠